

# 第一回

希望のつくりかた

料金 前売・千五百円 当日・千八百円  
 会場 シンフォニーホール一階（旧新星堂跡地）  
 開場 十七時三〇分 開演 十八時三〇分  
 日時 平成二十三年 十月三〇日（日）  
 講演 福森伸（しょうぶ学園施設長）



# 希望のつくりかた



## 第一回

ENNOVA OKAYAMA presents  
希望のつくりかた

日時・平成二十三年 十月三〇日（日）  
 会場・シンフォニーホール一階（旧新星堂跡地）  
 料金・前売千五百円／当日千八百円

希望のつくりかたとは？

モノと情報は溢れているけど、「希望」はどうだろう？

「希望」が見えた時代から  
 自分たちで作り出さなければ  
 「希望」が見えにくくなってしまった現在

そんな私たちに

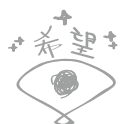


「ヒント！」

と与えていただける様々なジャンルの方をお招きして  
みんなで「希望のつくりかた」を探っていく！

という催しです

みんなで円になって、縁が生まれて  
新しい「希望」を発見していきましょう！



第一回ゲスト | 福森伸 | しょうぶ学園施設長 工房しょうぶ主宰 |

・福森伸プロフィール・ 社会福祉法人太陽会。



知的障害者支援施設しょうぶ学園施設長/工房しょうぶ主宰。社会福祉士。

1959年鹿児島県生まれ 日本体育大学卒。1982年単身アメリカを放浪滞在。1983年よりしょうぶ学園に勤務。木材工芸デザインを独学し、1985年障害者施設の中に「工房しょうぶ」を設立。工芸・芸術・音楽等、知的障害をもつ人のさまざまな表現活動を通じて多岐にわたる社会とのコミュニケーション活動をプロデュースしている。特に2000年頃より縫うことにこだわってプロデュースした「nui project」は、アメリカ他日本各地で障害者の作品が高く評価されている。また、家具プロジェクトやフード部門を立ち上げ「衣食住＋コミュニケーション」をテーマにした新しい「SHOBU STYLE」を模索している。

・工房しょうぶ・

鹿児島市の近郊、吉野大地の豊かな環境に知的障害のある人たちの施設「しょうぶ学園」があります。その中にある工房しょうぶでは、障害を持つ人たちの感性あふれる創作姿勢に魅せられ、工芸・芸術・音楽を中心に創造的な活動を行っています。また、食の工房などの活動を通して地域との繋がりを深めています。工房を利用する人だけでなく、サポートに携わるスタッフも表現者という同じ立場でコラボレーションを重ねながら、障害者施設という小さな単位ではなく社会に枠を広げ「与えられる」側から「創り出す」側に立つことを目指しています。ホームページ <http://www.shobu.jp>

| 工房しょうぶ物販スペース |

イベント当日は「工房しょうぶ」の世界観を体現していた  
たく為、実際に工房で作られた紙製品、木製品、陶器など  
の素晴らしいプロダクトの数々とともに、関連する書籍、  
DVDなどを物販スペースにて特別展示販売いたします。



| NPO法人 SAUDADEHAUS | ENNOVA |

「EN」は「縁」「円」。英語ではenをつけて動詞にする接頭語だったりもします。「NOVA」はラテン語で「新しい」「若い」「最近の」「見知らぬ」と言った意味をなします。つまり、「エンの場」だったり「新しいエン」だったり、見たことのない「コト」や「モノ」を作ったりすることだったり、行動することだったり、参加することだったり・・・「ENNOVA」とは、そんな自由な発想で「ENNOVA」を解釈し、実行していくプロジェクトの総称です。そして来年のはじめには名称を「NPO法人 ENNOVA OKAYAMA」として様々な「ENNOVA」の可能性を探っていく予定です。



<http://ennova.jp/>